

聖霊降臨節第24主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前奏 (黙祷)

「主イエスよ、われらに」

(讃美歌 21-1 番)

J.Ph.キルンベルガー作曲

あいさつ

讃美歌 讃美歌 21/549 番

開会の祈り

交読詩篇 詩編 92 篇 1~4、13~16 節

【み言葉の礼拝】

聖書

✦ヨハネの手紙一 5 章 11~12 節

✦ヨハネによる福音書 17 章 1~5 節
(新約 P.447、新約 P.202)

応答唱 讃美歌 21/85 番

教話 井上隆晶牧師

『永遠の命とは』

使徒信条

【聖餐礼拝】

奉献 讃美歌 21/81 番

教会の祈り (連祷)

平和の挨拶

讃栄 讃美歌 21/83 番

主のいのり

陪餐

【応答と派遣と祝福】

讃美歌 讃美歌 21/509 番

感謝の献物

栄光の讃美 讃美歌 21/24 番

派遣の言葉 井上隆晶牧師

祝福の祈り

後奏 (黙祷)

「聖なる主の美しさと」

(讃美歌 21-17 番) 北澤惣作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 勝見 仁

奏 楽 飯田雅子

献金当番 エリザベス・P

受付当番 菱田朱美

【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)

・お話し: 小坪英恵

◇讃美歌練習 (礼拝後)

◇合同祈禱会 (礼拝後)

◇教会学校教師会 (礼拝後)

◇夕礼拝 (午後 5 時)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り

・10 月 29 日 (火) 午前 9 時

・11 月 1 日 (金) 午前 9 時

◇英会話グループ

・お休みです。

【次週主日 11 月 3 日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前 9 時 30 分)

・お話し: 小坪英恵

◇主日朝礼拝 (午前 10 時 30 分)

・聖書

✦ローマ 7 : 1~6

✦ヨハネ福音書 19 : 28~37

(新約 P.282、新約 P.208)

・教話 井上隆晶牧師

『律法からの解放』

・讃美歌 21 503、85、512

・交読詩篇 詩編 93 : 1~5

・司式補佐 屋宮英男

・奏 楽 鹿野幸枝

・献金当番 山千代誠子

・受付当番 黒澤 巖

◇讃美歌練習 (礼拝後)

◇合同祈禱会 (礼拝後)

聖句

「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエスキリストを知ることです。」

(ヨハネ 17 章 3 節)

【諸報告・個人消息】

①《今週の井上牧師の予定》: 28 日 (月) 午後 1 時 30 分「シャロン礼拝」

②《10 月~11 月の行事のお知らせ》

■10 月 27 日 (日) 礼拝後「教会学校教師会」

■11 月 3 日 (日) 午後 1 時「定例役員会」

■11 月 4 日 (月・祝) 大阪メモリアルパーク
で墓前礼拝・納骨式を行います。参加される方は教会に 10 時 30 分に昼食持参でお集まり下さい。車に分乗して向かいます。

■11 月 6 日 (水) 午後 2 時「大阪 YWCA 聖書を学ぶ会」大阪 YWCA 本館 2F チャペル: 参加費 500 円。どなたでも参加できます。

午後 7 時「中部地区合同祈禱会 (蒲生教会)」

■11 月 19 日 (火) 午前 10 時「心の病の勉強会」参加費 500 円

■11 月 24 日 (日)「収穫感謝祭」、礼拝後「鍋会と教会懇談会」をいたします。奮ってご参加ください。

③先週の教会学校に初めて井垣美咲さん、森脇菜々美さん (共に大阪女学院高 3 年) が、また礼拝に初めて萩原竜太郎さん (アナスタシアさんの夫さん) が参拝して下さいました。感謝です。

④【祈禱課題】

●宗教法人を取り、広い礼拝堂を建築するため。

●都島教会が外に向かって宣教する教会になるように。●ガザ地区の人々のため。

⑤【先週の集会統計】

日	集会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
20	CS 礼拝	-	4	4	8	¥2,620
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
20	朝の礼拝	7	17	5	29	¥21,700
22	朝の祈り	4	3	-	7	
25	朝の祈り	2	4	-	6	

⑥【10/20 の献金報告】

[月定] 小坪英恵、小淵賀裕 (計 7,200 円) [互助] 山千代憲一 (計 1,000 円) [建築] 小坪英恵 (計 500 円) ※ 皆様の献金に感謝します。

【先週の説教要旨の続き】

人間の力ではもう平和を作ることは出来ません。神は罪を犯す人とこの世を見捨てません。人間と関わり続けられます。神はこの世界を背負い続けられます。

③【神と人間は運命共同体であること】イエス様は弟子たちに「わたしが生きていますので、あなたがたも生きることになる。」(ヨハネ 14:19) と言われました。私たちは完全に運命共同体なのです。キリストが死ねば私も死に、キリストが復活すれば私も復活します。キリストが頭なら私は体なのです。私は木の幹につながった枝なのです。自分で生きていたのではなく、キリストによって生きています。23 節「父とわたしとは、その人のところに行き、一緒に住む。」とあるのも神と人の一体を現わしています。私は神の住まう神殿となるのです。

牧師としていような精神障害をもった人たちやホームレスの人たちと関わる中で「なぜこの人なのだろうか」と思うことがあります。どうみても運が悪いとしか思えない、病や不幸を負わされているとしか思えない人がいるのです。それは平山先生によれば「神の受難」を悟らせるためだということです。その人が苦しみがあっても耐え、人を愛している姿を見ると、私たちは慰めと癒しを受けられます。そこに神の姿を見るからだと思いません。聖パウロが「今やわたしは、あなたがたのために苦しむことを喜びとし、キリストの体である教会のために、キリストの苦しみの欠けたところを身をもって満たしています。」(コロサイ 1:24) と語るように、私たちが神の苦しみを分かち合うのです。苦しみに意味があるのです。そして苦しみの向こうには必ず、愛の勝利があります。私が苦しむ時、キリストも共に苦しみを負っていただきます。それを慰めとして、キリストに似た生き方をしてゆきましょう。